

芳賀町シティプロモーション施策の推進に関する意見書

芳賀町のシティプロモーション施策推進にあたり、令和7年度に発足した「L×haga 事業実行委員会」及び同ワークショップにおける検討結果に基づき、次のとおり具申します。事業化に向け、ご理解・ご高配いただきたく、お願い申し上げます。

<Ⅰ 戦略>

「プロモーションの基本戦略について」

(1) インナー（町内）からアウター（町外）への段階的展開

プロモーションの成功には、まず「インナー」のリーダーシップ確立と機運醸成を優先すべきです。その土台の上に、芳賀町ファンクラブ（仮称）のような「アウター」のファンづくりを戦略的に進める二段構えの体制が重要です。当委員会の発足を機に、段階的な展開が整備されるよう後押しをお願いいたします。

(2) 共通指針（ガイドライン）の策定

町長・副町長をはじめ、議会や関係機関全体で共有できる「プロモーション指針（ガイドライン）」を策定することが必要です。これにより、町全体が統一されたメッセージと方向性を持って活動することが可能となりますが、ガイドラインの策定は性急に策定するのではなく、一定の検討期間を設けて検討し、芳賀町振興計画の実現とその充実に寄与するものとして策定していただきたいと思えます。

<Ⅱ 人材>

「人材育成と意識改革の継続について」

(1) 体験型プロモーションへの深化と担い手育成

令和8年度の「さくらまつり」の成果を継承しつつ、今後は来訪者の滞在時間の延長や経済的な効果を期待する「食」や「温泉」等の地域資源を活かした「滞在型・体験型プロモーション」へと深化させる必要があると考えます。町民や事業者が自発的に行動できるよう、継続的な意識改革とスキルアップの機会を提供することが不可欠ですので、当ワークショップの継続的な後押しをお願いいたします。

(2) 民間リーダーの長期的育成

プロモーション施策の実現には、官主導ではなく民間側のリーダーシップが鍵となります。SNS発信等のスキル面に留まらず、多様な分野で地域を牽引できる次世代の民間リーダーを中長期的な視点で育成することが必要ですので、そうした人材育成の実施をお願いします。

<Ⅲ 組織、経済>

「将来像と推進体制について」

(1) 経済効果を生む具体的な収益モデル（出口戦略）の明確化

観光を通じた地域経済の活性化やインバウンド誘致においては、具体的な収益モデル（出口戦略）を明確にする必要があります。補助金、交付金に依存しない自立した財源確保、企業を含めたふるさと納税による寄附拡大、民間事業者の収益向上に直結する仕組みを検討し町民の豊かさや幸福度の向上を目指すべきと考えます。

(2) 地域を牽引する組織づくり

「L×haga 事業実行委員会、同ワークショップ」は、PPP（官民連携）等の手法の導入も視野に入れた組織のブラッシュアップを行うことで、各分野のキーマンが有機的に連携し目標を達成できるような自走力が備わった組織に成長し、将来の芳賀町の観光をけん引する存在になる可能性を秘めています。

数年先の未来を見据えた、当委員会の継続についてご理解いただきたいと思えます。

(3) 令和8年度のL×haga 事業実行委員会、ワークショップのテーマ案

令和8年度は、当実行委員会・ワークショップのテーマとして、以下の内容を軸に検討し具体化を目指していきたいと考えています。

① 「食」をテーマにしたプロモーション手法に関するワークショップ（3回程度）

→ さくらまつりの高度化：食を活用した企画案の検討（3回のうち1回）

② ビジョン共有：人材育成・組織づくりに関する研修・ワークショップ（1回程度）

令和8年2月12日

芳賀町 町長 大関 一雄 様

L×haga 事業実行委員会 委員長

五艘 みどり

